



# PRESS RELEASE

## Osaka Convention & Tourism Bureau

公益財団法人  
大阪観光局  
〒542-0081  
大阪市中央区南船場4-4-21  
TODA BUILDING 心斎橋  
(旧りそな船場ビル) 5階  
TEL (06)6282-5900(代)  
FAX (06)6282-5915

令和8年3月27日  
公益財団法人大阪観光局

## 留学生満足度が過去最高の85.8%

— 9割超が「日本での進学・就職」を希望、課題は学校種別で顕在化—

公益財団法人大阪観光局（所在地：大阪市中央区、理事長：溝畑宏）は、学校・企業・行政と連携して留学生支援を行う「留学生支援コンソーシアム大阪」の取組の一環として、留学生満足度調査を実施しました。

その結果、2026年度の留学生総合満足度は85.8%となり、調査開始以来、過去最高を更新しました。また、日本での進学・就職を希望する留学生は9割を超え、大阪における受入環境や支援施策が着実に成果を上げていることが明らかになりました。

一方で、学校種別によって課題やニーズが大きく異なる実態も浮き彫りとなり、今後はよりきめ細かな支援の強化が求められています。

---

### 調査の背景

大阪観光局では、2020年4月に「留学生支援コンソーシアム大阪」を設立し、留学生にとって「住んでよし・学んでよし・働いてよし」の大阪の実現を目指してきました。

2030年までに留学生満足度90%の達成をKGIに掲げ、年間を通じた支援施策やイベントの実施とともに、毎年満足度調査を行っています。



---

### 調査概要

- 調査対象：大阪および関西圏の日本語学校・専門学校・大学・大学院に在籍する留学生
- 回答者数：1,285人
- 調査方法：メール依頼によるWebアンケート
- 調査期間：2026年12月19日～2027年1月20日

---

結果は次ページをご覧ください。

#### 【報道関係者のお問合せ】

公益財団法人 大阪観光局  
留学生支援室 担当：吉川・國守  
TEL: 06-6282-5908  
Email: studyinosaka@octb.jp

## 留学生満足度が過去最高の 85.8%

— 9 割超が「日本での進学・就職」を希望、課題は学校種別で顕在化—

<p><b>学校種別にみる主な調査結果</b></p> <p><b>日本語学校</b>（満足度：87%）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>生活面での困りごとは比較的少なく、安定した評価</li><li>一方、就職支援の満足度は約 4 割強にとどまり、進学・就職情報の充実が課題</li></ul> <p><b>専門学校</b>（満足度：80%）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>アルバイトの長時間化により、学習時間の確保が困難</li><li>面接対策やキャリア相談など、<b>就職支援へのニーズが高い</b></li></ul> <p><b>大学</b>（満足度：92%）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>学習環境への評価は高水準</li><li>就職情報不足により、<b>就職支援満足度は 25%</b>と低迷</li><li>学びと就職支援のギャップが顕在化</li></ul>	<p><b>大学院</b>（満足度：94%）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>研究環境に対する評価が高い</li><li>日本語力に不安を抱える学生も多く、生活相談や研究分野を活かせる<b>就職情報の不足が課題</b></li></ul> <hr/> <p><b>留学生の就職意向の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li><b>日本語学校生・専門学校生</b> 「日本で働いてスキルアップしたい」という<b>短期志向</b>が目立つ</li><li><b>大学生・大学院生</b> 約 6 割が「日本で働きたい」と回答 理由は「日本文化が好き」「長く住みたい」が中心</li></ul> <p>一方で、希望就職先は日本企業よりも<b>外資系企業を志向</b>する割合が高く、その背景には</p> <ul style="list-style-type: none"><li>日本の働き方（年功序列など）への不安</li><li>日本語力への不安</li></ul> <p>があることがうかがえます。</p>
--	---

### 今後の重点施策

以上の調査結果を受け、留学生支援コンソーシアム大阪は、以下の点を含め、**多様性・共生・平等**のまちづくりを進めるために、今後も学校、行政、経済団体、地域住民など地域の関係者と力を合わせ、留学生支援を強化していく予定です。

- すき間時間**で利用できる支援の強化  
SNS や 1 分動画など、短時間で必要な情報を得られる仕組みを整備
- 日本語が苦手でも参加できる環境づくり  
多言語対応や「**やさしい日本語**」を活用した交流イベント・相談機会を拡充
- 希望職種にアクセスできる就職情報の整備  
学校・企業・行政が連携し、**分野別求人情報やキャリア相談**を強化

\*調査報告の詳細は [Study in Osaka の資料](#)をご覧ください。